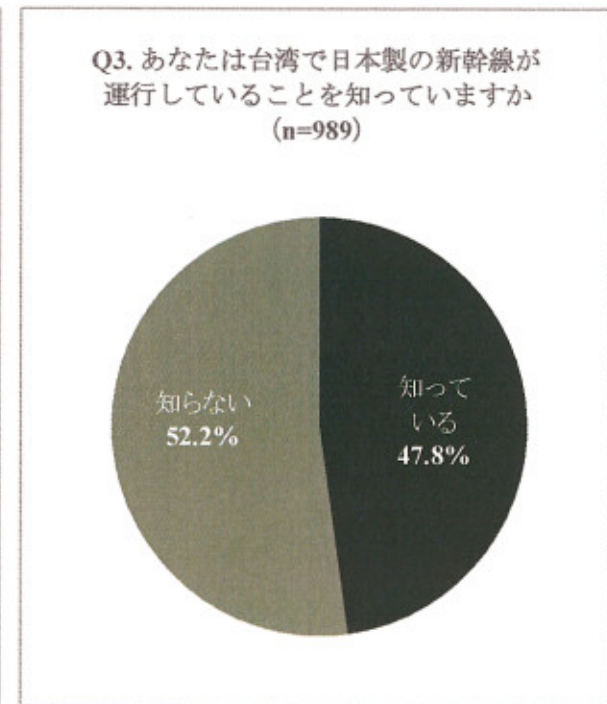
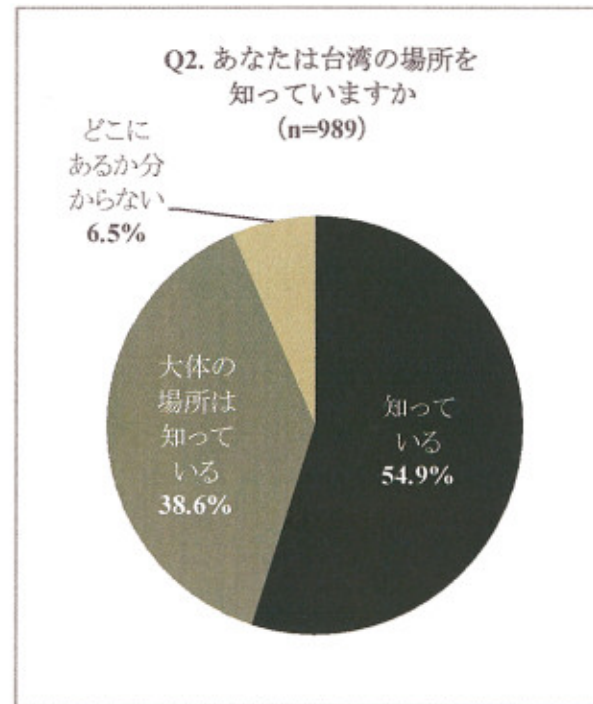
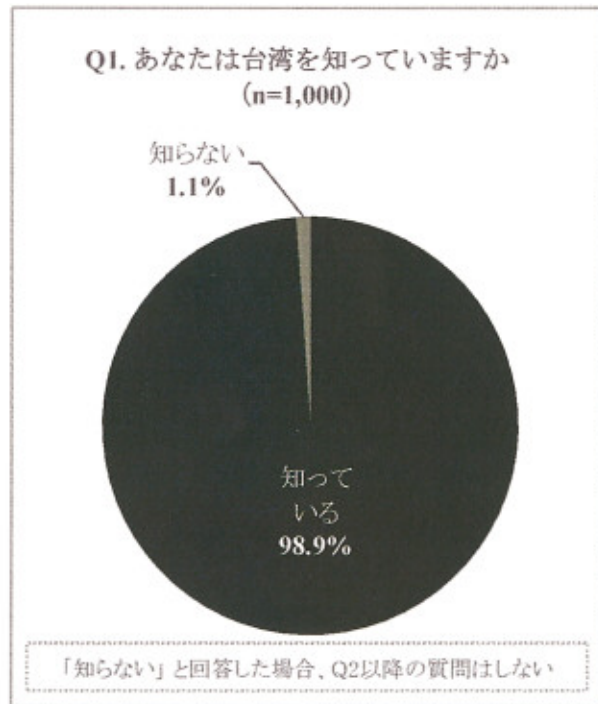


台湾に対する認知

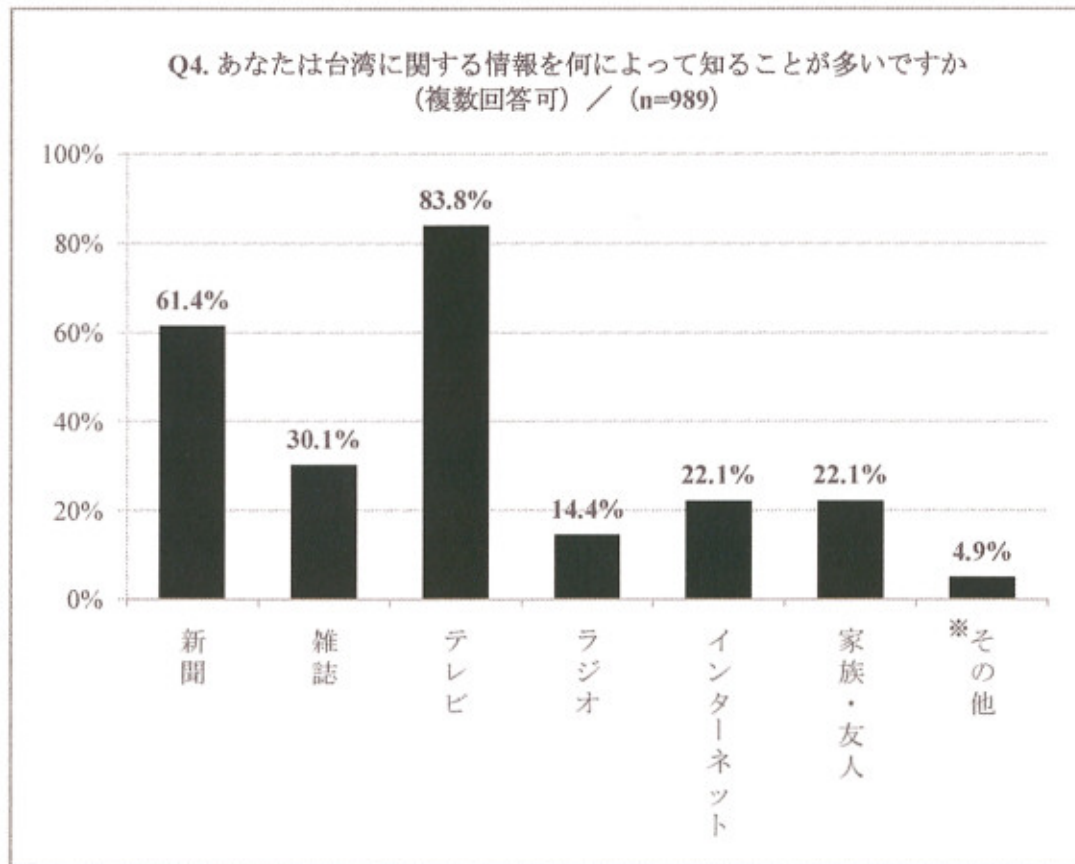
- ▶ 台湾を「知っている」との回答は全体の99%であり、「知らない」との回答は1%であった。
- ▶ 台湾の場所を「知っている」との回答は55%と全体の過半数を超え、はっきりとは分からないが「大体の場所は知っている」が39%、「どこにあるか分からない」が7%であった。
- ▶ 台湾で日本製の新幹線が運行していることを「知っている」との回答は48%、「知らない」は52%であった。「知らない」との回答が「知っている」を若干上回る結果となった。



*コメント内の数値は四捨五入したうえで記載

台湾の認知経路

▶ 台湾に関する情報を何によって知ることが多いかを尋ねたところ、「テレビ(84%)」との回答が最も多く、次いで「新聞(61%)」、「雑誌(30%)」という結果となった。



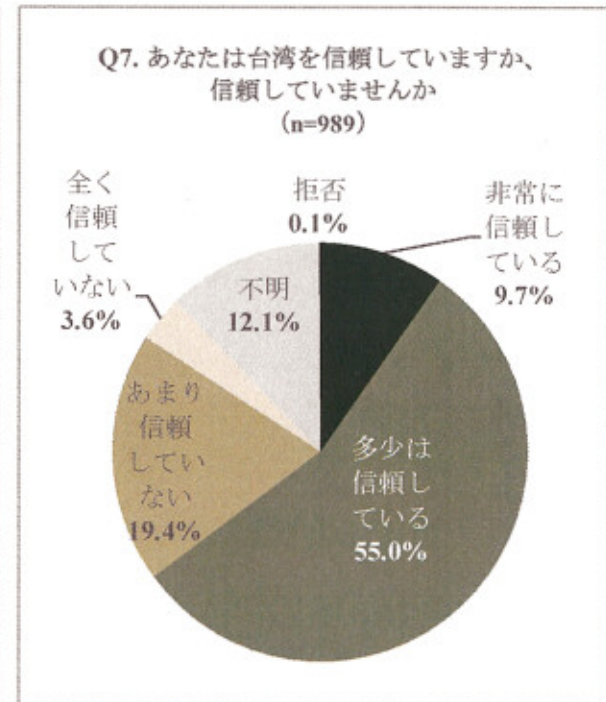
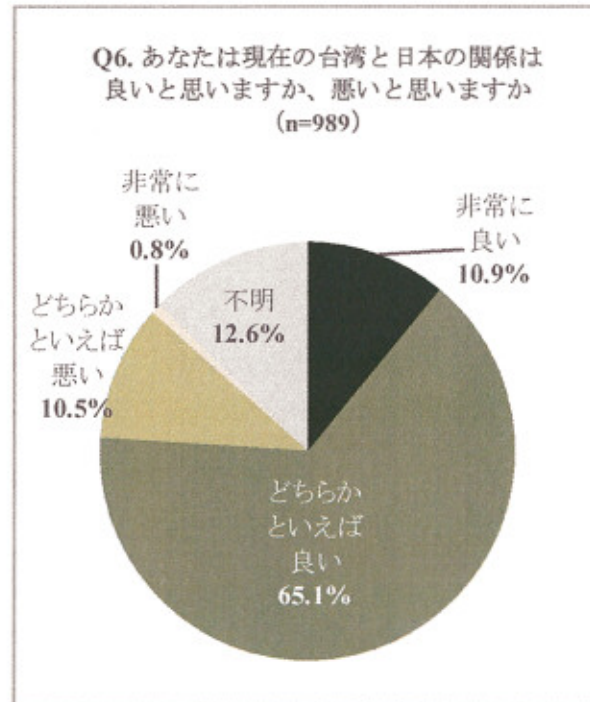
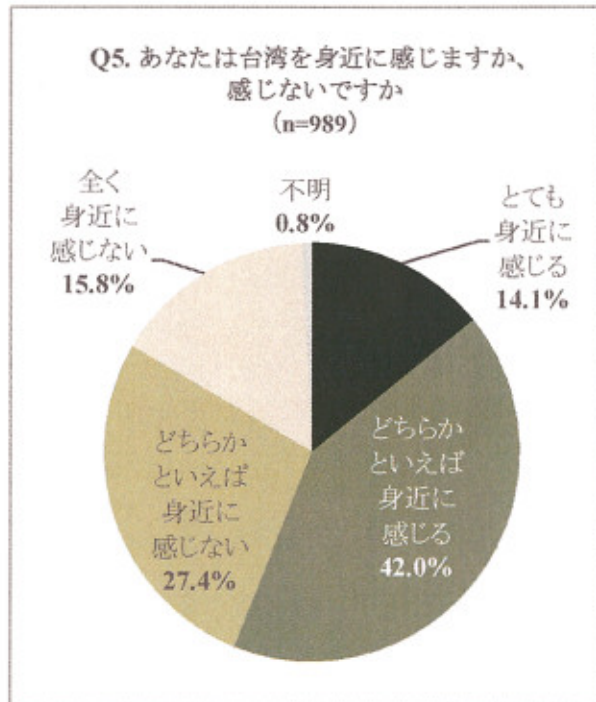
※「その他」回答：一部抜粋(順不同)

旅行パンフレット / 旅行代理店 / 観光案内 / 新聞チラシ
歴史の専門書 / 台湾ドラマ / 映画
実際に台湾へ行って(旅行) / 台湾飲食店
台湾人のホームステイの人から
職場 / 取引先(取引相手国) / 出張 / 学校の授業
学校のサークル

*コメント内の数値は四捨五入したうえで記載

台湾に対する意識

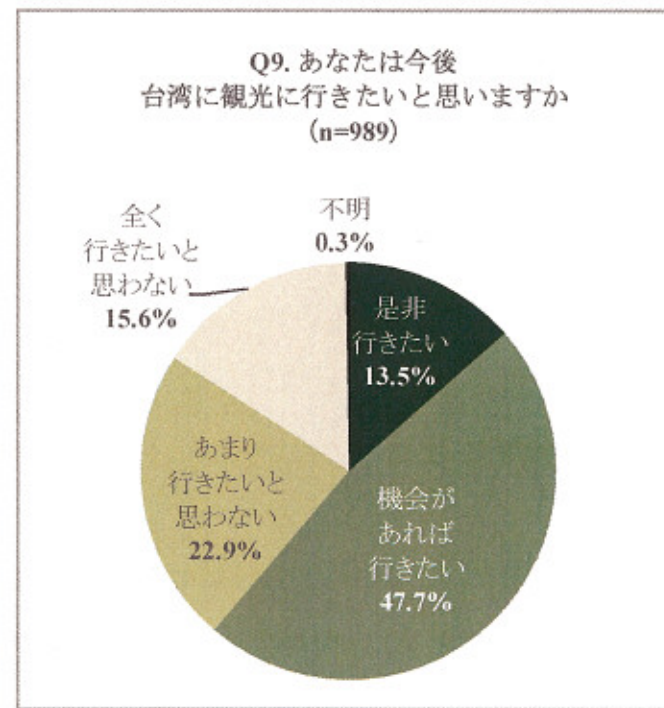
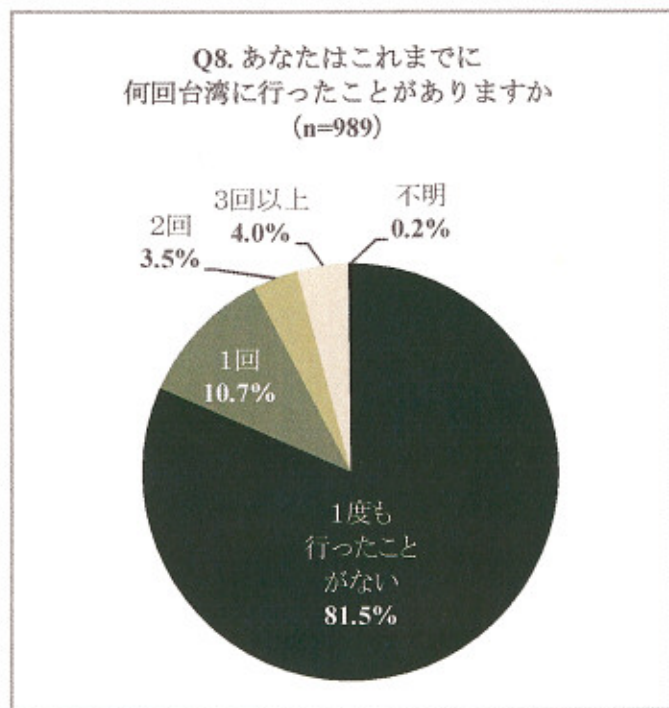
- ▶ 台湾を身近に感じるかとの問いには、「どちらかといえば身近に感じる(42%)」が最も多く、「とても身近に感じる(14%)」と合わせると56%となり、全体の半数以上の人が親近感を示す結果となった。
- ▶ 現在の台日関係については、「どちらかといえば良い(65%)」との認識が全体の半数以上を占め、「非常に良い(11%)」と合わせると全体の76%の人が良好な関係であるとの認識を示していた。また両国の関係性を評価できず「不明」との回答は1割超(13%)であった。
- ▶ 台湾を信頼しているかとの問いについては「多少は信頼している(55%)」との回答が過半数を占め、「非常に信頼している(10%)」と合わせると65%の人が信頼感を示す結果となった。信頼性を評価できず「不明」と回答した人は、1割超(12%)となっていた。



*コメント内の数値は四捨五入したうえで記載

台湾への渡航経験／観光意向

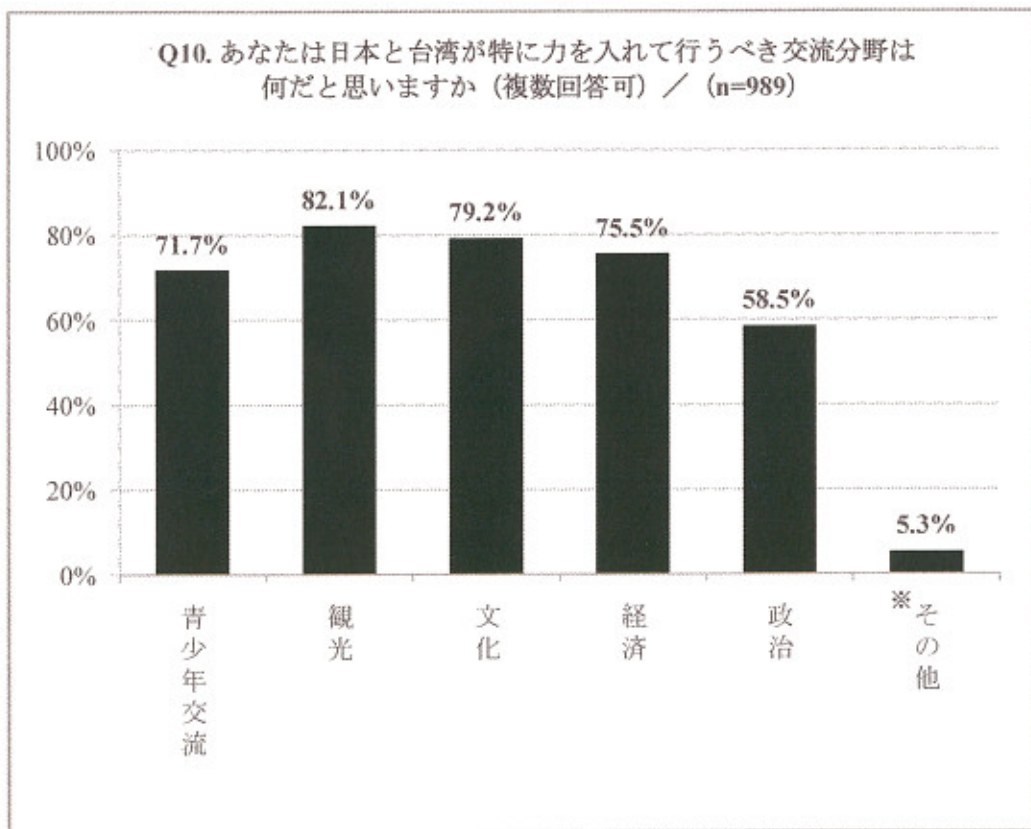
- ▶ これまでに台湾へ行った回数を尋ねると「一度も行ったことがない(82%)」との回答が突出しており、以下「1回(11%)」、「2回(4%)」、「3回以上(4%)」となった。
- ▶ 今後台湾へ観光に行きたいかとの問いには「機会があれば行きたい(48%)」が最も多く、以下「あまり行きたいと思わない(23%)」、「全く行きたいと思わない(16%)」が続く。「是非行きたい(14%)」と「機会があれば行きたい(48%)」の合計は61%であった。



*コメント内の数値は四捨五入したうえで記載

交流意向分野

➤ 日本と台湾が特に力を入れて行うべきだと思う交流分野は「観光(82%)」を筆頭に「文化(79%)」、「経済(76%)」、「青少年交流(72%)」となっていた。「政治(59%)」との回答は最も少なかったが、交流意向は全ての分野で過半数を超える結果となった。



※「その他」回答：一部抜粋(順不同)
スポーツ / 教育 / 学生の交流 / 交換留学
芸能 / マンガ等の出版物
医療 / 農業 / 環境 / 金融 / 科学技術 / 工業技術
地震対策 / 火山活動の情報交換 / 軍事
歴史認識 / 領土問題

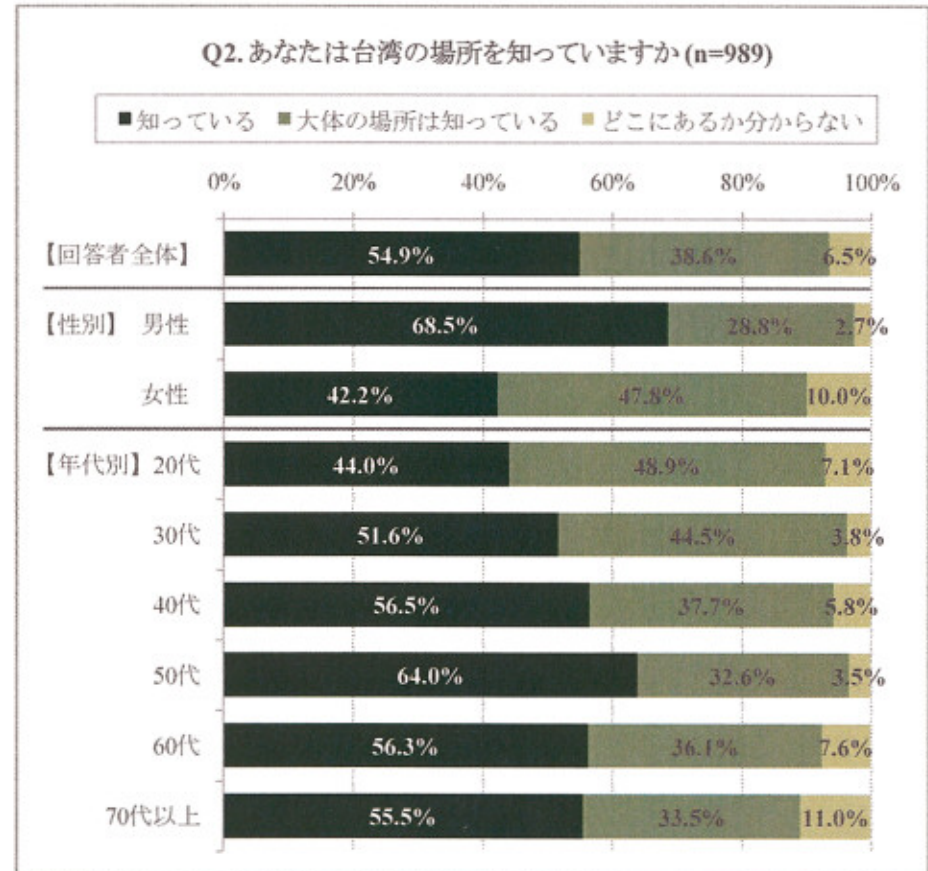
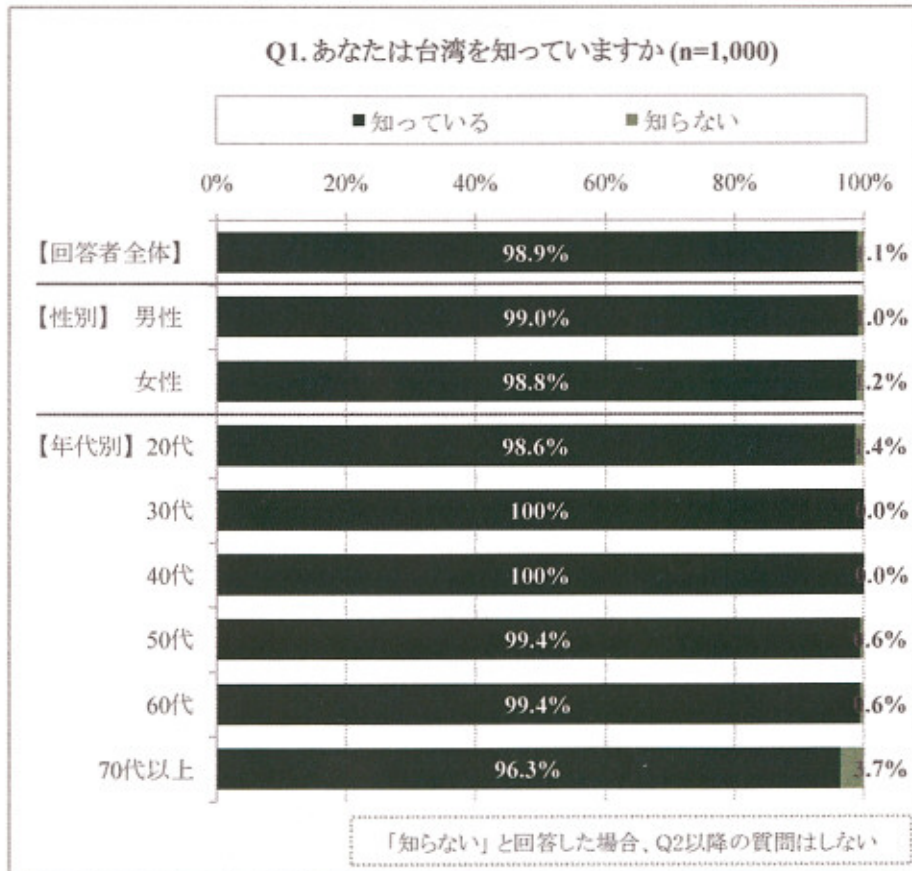
*コメント内の数値は四捨五入したうえで記載

調査結果

<性別／年代別>

台湾に対する認知(1)

- ▶ 台湾を「知っている」との回答は、【性別】、【年代別】ともに「知っている」との回答が99～100%に達していた。ただし、【年代別】の70代以上で認知率が若干低く96%であった。
- ▶ 台湾の場所を「知っている」との回答は【性別】で27%の差が見られ、男性が69%、女性42%であった。【年代別】では、20代を除くすべての年代で「知っている」が過半数を超えていた。



*コメント内の数値は四捨五入したうえで記載